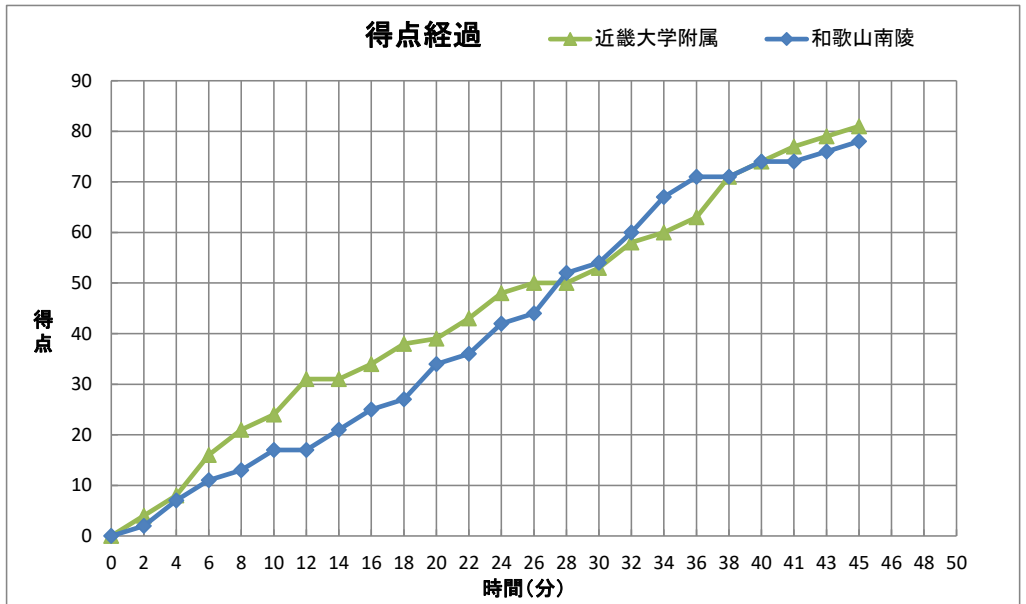




令和3年度
第68回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

男子		6月26日				16:30 開始																		
準々決勝						E																		
◎ 近畿大学附属 81		<table border="1"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>15</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>4th</td><td>20</td></tr> <tr><td>7</td><td>OT</td><td>4</td></tr> </table>				24	1st	17	15	2nd	17	14	3rd	20	21	4th	20	7	OT	4	78		和歌山南陵	
24	1st	17																						
15	2nd	17																						
14	3rd	20																						
21	4th	20																						
7	OT	4																						
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則											
* 4	竹宮 聖太郎	6	1	1	1	0	* 4	加藤 真央	9	3	0	0	1											
* 5	楊 裕貴	14	0	7	0	2	* 5	柳沢 隼士	8	0	4	0	5											
6	池澤 晴太	0	0	0	0	1	6	中本 一寿	2	0	1	0	0											
* 7	東 拓志	9	0	3	3	3	* 7	猪口 富椰	2	0	1	0	5											
* 8	高畑 慶次郎	29	3	8	4	0	8	佐伯 和司	0	0	0	0	1											
9	中島 秀太	0	0	0	0	2	9	中峰 十座	0	0	0	0	1											
10	田中 優大	-	-	-	-	-	10	黒川 翔斗	-	-	-	-	-											
11	北野 諒	0	0	0	0	0	11	安藤 友稀	-	-	-	-	-											
* 12	野崎 稜太	12	0	4	4	2	12	高澤 太輝	-	-	-	-	-											
13	西岡 優太	0	0	0	0	0	* 13	アブデュラヒム デイビッド アラバ	51	0	24	3	3											
14	山下 瑞季	-	-	-	-	-	* 14	松本 和也	6	0	2	2	5											
15	中西 悠	-	-	-	-	-	15	有田 十把	-	-	-	-	-											
16	田中 陸翔	5	0	1	3	3	16	竹村 太陽	-	-	-	-	-											
17	田中 偉航	1	0	0	1	2	17	田村 昂暉	-	-	-	-	-											
18	保田 空海	5	1	1	0	0	18	松本 裕介	-	-	-	-	-											
コーチ	大森 健史					0	コーチ	増井 拓也					0											
Aコーチ	山本 悠真						Aコーチ	和中 裕輔																
合計		81	5	25	16	15	合計		78	3	32	5	21											
主審: 富島 健司 副審: 栗山 一平 副審: 片山 雄一郎																								



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	14:33	19:58	32:30	34:16	:	44:59.2	:	:	:
TeamB	6:42	:	37:31	38:42	39:24	:	:	:	:

〔戦評〕
 インターハイ大阪府予選で優勝した近大附属と和歌山県予選で優勝した和歌山南陵、優勝校同士の対戦である。
 第1Q、両チームともにハーフコートマンツーマンで開始、近大附属は#5楊と#8高畑の連続得点で好調なスタートをきる。一方、和歌山南陵も留学生の#13アデチュチュがバスケットカウントや#4加藤の3Pでくらいつき互角の戦い。近大附属はチェンジングディフェンスで流れを掴み、和歌山南陵はたまたまずタイムアウト。その後和歌山南陵#13アデチュチュがゴール下を支配し、得点を重ねるものの近大附属の勢いが止まらず17-24で第1Q終了。
 第2Q、開始早々近大附属は激しいディフェンスからの速攻で得点を重ね点差が開く、和歌山南陵は流れを変えたいとこだが、ターンオーバーが続き得点にならず開始3分で19-31とじわじわと点差が開く。しかし、和歌山南陵も#13アデチュチュのディフェンスリバウンドや連続得点で残り1分で5点差まで縮めるが、残り30秒ゴール下で体を張っていた和歌山南陵#7の猪口が4つ目のファール、前半を39-34で終える。
 第3Q、近大附属は#5楊と#7東で得点を重ねる、和歌山南陵も#13アデチュチュと#5柳沢の得点で一進一退の攻防が続く。近大附属はでオールコートマンツーマンでしかけるが、和歌山南陵も冷静にボール運び#13アデチュチュを中心に得点を重ね残り2分で逆転に成功する。しかし、近代附属も焦ることなく得点を重ね第3Q53-54で終える。
 第4Q、近大附属はセットプレーで#5楊のドライブで逆転に成功、しかし、和歌山南陵もすぐさま#13アデチュチュで取り返す。8分50秒これまで攻守に貢献していた、和歌山南陵の#5柳沢が痛恨のファールアウト、近大附属に流れがいくかと思われたが近大附属のシュートが入らない。残り3分和歌山南陵#4加藤に3Pを決められ近大附属はたまたまずタイムアウト(65-71)。しかし、近大附属はセットプレーか#高畑の連続3Pで同点にし和歌山南陵がタイムアウト。その後、近代附属は#12野崎のバスケットカウントで74-71でリードしこのまま試合が終了するかと思われたが、和歌山南陵#4加藤が3Pのプザービーターを決め延長戦へ。
 延長、お互いになかなかシュートが入らなく堅い展開。そんな中、先手をとったのが近大附属#8高畑のバスケットカウントや#12野崎のドライブで主導権を握る。和歌山南陵も#13アデチュチュが頑張るものの万事休す。近大附属が準決勝に駒を進めた。

戦評: 福知山成美 金崎 優生 記録: 南陽高校 松村 郁輔